

精密工学会 生産自動化専門委員会 研究発表会のご案内

生産自動化専門委員会に所属されていない方も参加できます

【会告】「2012年10月(10月26日(金)開催) 研究発表会 内容」

生産自動化専門委員会委員長 大隅 久

(趣旨)

日本では農業従事者の高齢化に伴い、耕作放棄地の増加が問題とされる一方、高品質の作物は今後の日本の輸出を支える柱のひとつとも期待されており、農作業の自動化が強く求められています。今回、生物系特定産業技術研究支援センターで自動化のためにどのような研究開発がされてきているか、実際の装置見学と農業自動化の事例を紹介していただく機会を計画しました。具体的な事例で、いろいろと参考になることも多いと思われます。

なお、研究発表会につき非委員の方も有料で参加できますので、委員各位の周囲の方にも参加のお勧めをしてください。

10月研究発表会は大橋康二氏のご尽力で企画されました。

多くの関係者の参加を期待します。

1. 日時：2012年10月26日(金) 10:00～17:00

2. 主題：「農産物生産の自動化」

3. 内容：

10:00～12:00 所内関係施設の見学

12:00～12:45 休憩

12:45～17:00 講演

(1) 12:45～13:45 「農業機械化と農産物生産における自動化研究の現状」

(独)農研機構 生研センター 企画部 嘱託 行本 修 氏

【講演概要】

「農業機械化の歴史、役割、効果」と他産業と異なる条件を「農業機械化の条件等」として示し、既に市販機械に採用されている「トラクタやコンバインの自動化事例」とかつて講演者が担当した「耕うんロボット」を紹介する。

参考 HP：<http://www.naro.affrc.go.jp/brain/iam/index.html>

(2) 13:45～14:45 「イチゴ生産の自動化省力化技術の開発」

(独)農業・生物系特定産業技術研究機構 生物系特定産業技術研究支援センター
園芸工学研究部 主任研究員 林 茂彦 氏

【講演概要】

我が国のイチゴ栽培には10aあたり2092時間の労働時間がかかっており、これは米生産の70倍に当たる。イチゴ生産の自動化を目指して、収穫ロボット、パック詰めロボット、高密度植栽培装置を開発した。

----- (14:45～15:00休憩) -----

(3) 15:00～16:00 「接ぎ木苗の現状と全自動接ぎ木ロボットまでの道のり」

(独)農研機構 生研センター 基礎技術研究部 主任研究員 吉永 慶太 氏

【講演概要】

近年、世界中で利用が増大している接ぎ木苗を取り巻く状況、そして接ぎ木作業全自動化の実現に向けて、生研センターが取り組んできた歴史を紹介する。

参考HP：<http://www.naro.affrc.go.jp/brain/iam/index.html>

(4) 16:00～17:00 「接ぎ木装置の開発および商品化」

井関農機株式会社 施設事業部 副専事

大越 崇博 氏

【講演概要】

接ぎ木とは植物の一部を別の植物とつなぎ合わせ、新しい植物にする技術。その接ぎ木作業を自動化した「接ぎ木ロボット」の開発事例を紹介する。

参考 HP：<http://www.iseki.co.jp/products/nougyou/tugiki.html>

4. 場所：(独)農研機構 生物系特定産業技術研究支援センター（生研センター）

<http://www.naro.affrc.go.jp/brain/iam/index.html>

所在地：〒331-8537 埼玉県さいたま市 北区日進町 1-40-2

担当者：市戸万丈（いちとかずとも）氏 [TEL：048-654-7226]

5. 集合時間と場所 《アクセスは、2ページの案内、3ページのURLをご参照ください》

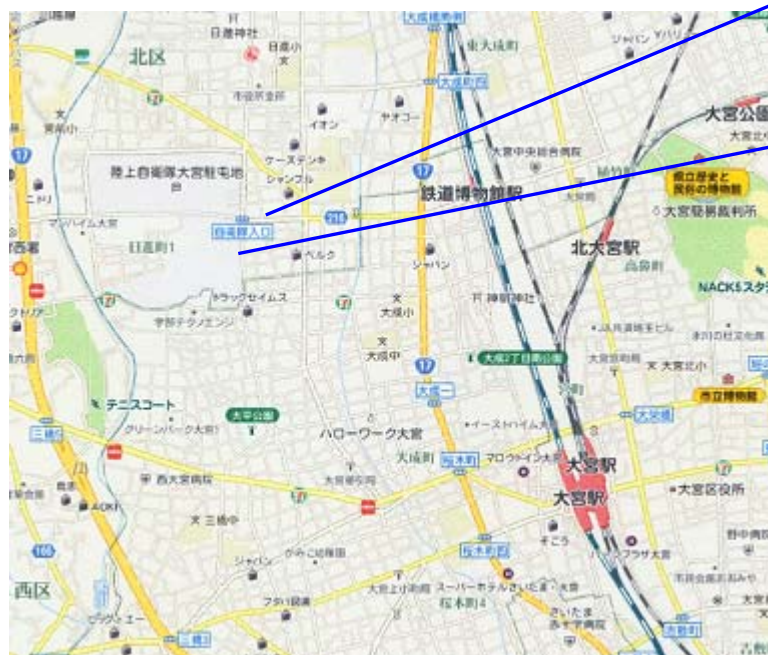
9時50分（時間厳守） (独)農研機構 生研センター 本館3階 大会議室 集合

【会場までの交通機関】

JR大宮駅 西口6・7番乗場より、東武バス「三進自動車」または「シティハイツ三橋」行き乗車 約10分～15分、「自衛隊入口」で下車、徒歩5分（運賃:190円）

【正門から大会議室まで】

正門を入ると正面に「建物配置図」看板があり「本館」が記載されています。道なりに40メートルほど進んでいただくと「本館」があります。



バス停「自衛隊入口」

生研センター 正門

JR大宮駅 バス乗り場



《参考》

大宮駅西口 6番乗り場 大61系統発 (8月20日現在の時刻表です)

9:04分、9:10分、9:18分、9:25分、9:30分

◆生物系特定産業技術研究支援センター アクセス

URL : <http://www.naro.affrc.go.jp/brain/introduction/access.html>

◆東武バス 乗り場案内

URL : http://www.tobu-bus.com/pc/search/bsname_station.php?key=noriba4_1

6. 参加費

生産自動化専門委員会会員の方の参加費

※参加費は不要です。但し、昼食のお弁当を申し込まれた方は 1,000円お支払い願います。
2012年10月12日 (金) までに、出席連絡票に所定事項をご記入の上、事務局補佐 岩佐まで E-mailまたはFAXにてご連絡をお願いいたします。

E-mail: seisanji@dk2.so-net.ne.jp

FAX : 0797-52-1892

非会員の方の参加費

※生産自動化専門委員会会員でない非会員の方でも参加できます。

参加を希望される方は、非会員用の参加申込書にご記入の上、**2012年10月12日 (金)** までに事務局補佐 岩佐までE-mailまたはFAXにてお申し込みください。

参加申込先 E-mail: seisanji@dk2.so-net.ne.jp FAX : 0797-52-1892

【参加費用】

精密工学会の会員の方 : 7,000円/人 (会員番号を明記いただきます)
自動化推進協会の会員の方 : 7,000円/人 (会員番号を明記いただきます)
超精密位置決め専門委員会委員の方 : 7,000円/人
その他一般の方 : 10,000円/人

★参加費には、当日の配布資料集 (1部) を含みます。資料集のみ希望される場合は、研究発表会終了後、1部 3,000円 で有償配布いたします。参加申込書に明記ください。

【昼食代】

弁当をご希望の方は、上記金額とは別途 1,000円をお支払いいただきます。ご希望の方は参加申込書に明記ください。昼食代は、当日現金でお支払いください。

【参加費の支払いについて】

★参加費は事前に次の指定銀行口座へお支払いください。

三菱東京 UFJ 銀行 神保町支店 (店番号 : 013) 0106813 (普通
シャ) セイミツコウガクカイセイサンジドウカセンモンイインカイ
名義人 : 公益社団法人 精密工学会 生産自動化専門委員会

※ 振り込み手数料は、お支払い者側でご負担願います。

※ 振り込み受領証にて領収書に代えさせていただきます。

※ 請求書が必要な場合は、参加申込み書の備考欄にご記入ください。

★その他、10月26日研究発表会当日、会場でのお支払いも可能です。

※ 当日お支払いの場合は参加費と引換えに領収書を発行します。

7. 参加申込先／申込みについての問合せ先

参加申込書に所定事項をご記入の上、2012年10月12日（金）までにE-mailまたはFAXでご提出ください。

参加申込先：事務局補佐 岩佐礼子

E-mail：seisanji@dk2.so-net.ne.jp

FAX：0797-52-1892

8. その他

- 1) 本館玄関で、「生産自動化専門委員会 研究発表会参加」をお伝えください。会場の大会議室をご案内いただけます。
- 2) 施設の中には食堂がございませんので、希望者には会議室でお弁当（有料 1,000円）をお召し上がりいただきます。ご希望の方は「出席申込書」でお申込みください。お弁当の領収書は事務局が発行いたします。
近隣には食堂などございますが、昼食時間が45分と短いので、お弁当をお勧めいたします。
- 3) 現地までの往復の交通費は各自ご負担ください。
- 4) 当日の緊急のご連絡は、090-5037-3051（岩佐）へご連絡ください。

9. 出席連絡先／問合せ先

2012年10月12日（金）までに、出席連絡票に所定事項をご記入の上、E-mailまたはFAXにてご連絡をお願いいたします。

事務局補佐 岩佐礼子

E-mail：seisanji@dk2.so-net.ne.jp

FAX：0797-52-1892

10. 10月研究発表会についての問合せ先

大橋 康二（ケーエスエス株式会社）

E-mail：YASUJIIO@aol.com

Tel/Fax：0538-34-4695

携帯電話：090-3082-6639